

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	角田光代「待つということ」	配当時間	3
学習のねらい	○異文化とのふれあいについて書かれた文章を読んで、人と人との関わりについて考えを深める。 ○二つの体験をとおして語られる筆者の思いを読み取る。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人との関わりにおいて必要なものとはどのようなものか、考えを深めようとする。	異文化とのふれあいについて書かれた随想を読み、人と人との関わり方について考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	何気ないできごとの中に人生における大切なものを見いだそうとする優れた随筆の読み方を身につける。	筆者が二つの体験をとおして学んだ、人との関わりにおける大切なものについて理解している。	行動の観察 記述の確認
知識・理解	主要な常用漢字の音訓を理解する。	主要な常用漢字の音訓を正しく理解し、正しく書いている。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	内山節「春」	配当時間	3
学習のねらい	○人間と自然との関係について考えを深める。 ○文章の構成に着目して要旨を捉える。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の 指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自然とは何か、自然とともに生きるというのはどういうことか、考えを深めようとする。	自然の中で生きる人間の豊かさや、その中で生きることの意味について考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	論理的な文章の構成を理解し、筆者の主張を的確に捉える。	段落構成と論理展開について把握し、要旨を的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	主要な常用漢字の読みとその意味について理解する。	主要な常用漢字の音訓の読みに習熟し、その意味を的確に理解している。	行動の観察

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	川上弘美「水かまきり」	配当時間	4
学習のねらい	○登場人物の微妙な心の移り変わりを読み味わう。 ○小説における擬声語などの表現技法について理解を深める。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物たちの思いやお互いの心の交流について興味をもち、知りたいと思う。	登場人物同士の会話や心情表現の背後にあるそれぞれの思いに興味をもち、それがどういうものか、知りたいと思っている。	行動の観察 記述の点検
読む能力	登場人物それぞれの思いとその移り変わりを理解し、発表する。	会話と地の文をとおして、擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心の動きを理解し、発表している。	行動の観察
知識・理解	「可能」を表す表現を理解する。	「可能」を表す表現を正確に使い分けることができている。	記述の分析

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	大崎善生「神様捜索隊」	配当時間	4
学習のねらい	○「神様捜索隊」のツアーにまつわるそれぞれの人物の様子から、人間どうしのつながりや幸せについて考える。 ○できごとの展開をふまえ、その状況や人物の心情を捉える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の題名に込められ、象徴されているものが何であるかを捉えようとする。	この小説の題名が、登場する人々それぞれのどのような思いを象徴しているのかを捉えようとしている。	行動の観察 記述の点検
読む能力	登場人物それぞれの行為がどのような意味をもつのか、またそのもとにある心情がどのようなものかを捉える。	登場人物たちがそれぞれの場面においてどのような思いで行動しているのかを理解している。	行動の確認 記述の分析
知識・理解	常用漢字の音訓と熟語の読みを理解する。	常用漢字と熟語・熟字訓の読みを理解している。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	長谷川眞理子「コンコルドの誤り」	配当時間	3
学習のねらい	○人間がその行動や思考において「進化」から外れた「誤り」を犯すことについて考える。 ○具体例を整理し，論の展開にしたがって，人間の行動や思考に関する筆者の考えを理解する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで，書き手の考えやその展開のしかたなどについて意見を書くこと。		
学習指導要領の 指導事項	ア 文章を読んで，構成，展開，要旨などを的確にとらえ，その論理性を評価すること。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の題名がどういうことを象徴しているのかを捉えようとする。	文章の題名「コンコルドの誤り」に象徴されているものが何であるかを，具体例を通じて捉えようとしている。	行動の確認
読む能力	具体例と，そこから導き出される論理がどのようなものであるのかを理解し，説明できる。	「コンコルドの誤り」とはどのような思考パターンであるのかを具体例と結びつけて理解し，説明している。	行動の確認 記述の分析
知識・理解	使役を表す表現について理解する。	使役を表す正しい言い方を身につけている。	行動の分析

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	松沢哲郎「想像する力」	配当時間	4
学習のねらい	○人間とは何か，チンパンジーと比較することで見いだせる，人間の特徴を考える。 ○筆者の問題意識，具体例，考察という論理の展開を読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで，書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の 指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して，人間，社会，自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対比されている二つのものの共通点や違いについて理解しようとする。	チンパンジーの行動と人間のそれとを比較し，整理して理解しようとしている。	行動の確認
読む能力	対比されている記述内容の比較をおし，筆者の主張の中心とはどのようなものか，その論理を捉える。	人間とチンパンジーの行動との比較をおし，人間の特徴と可能性がどのようなものなのか，筆者の主張を理解している。	行動の分析
知識・理解	常用漢字によって表される対義語・類義語の意味を捉える。	対義語・類義語が文脈の中でどのように使われるかを理解している。	記述の分析

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	手紙とメール	配当時間	3
学習のねらい	○手紙文とコンピューターや携帯電話でのメールの文章とを比較しながら，それぞれの文の形式や書き方を身につける。		
言語活動例	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字，音声，画像などの特色をとらえて，目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて，収集した様々な情報を分析，整理して資料を作成し，自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	手紙とメールの文章の書き方を知り，実生活に役立てようとする。	手紙とメールの文章の書き方の違いを理解し，正しい文章を書こうとしている。	行動の観察
書く能力	手紙とメールの文章の違いと，それぞれの書き方を理解し，実際に実用文が書けるようになる。	手紙とメール，それぞれの文章の特徴を理解し，同じ内容をそれぞれの形式で書けるようになっている。	記述の分析
知識・理解	手紙とメールの文章の形式の違いを理解し，実際にそれぞれを書くことができるようになる。	手紙とメールの文章の形式がどのように違うのかを理解し，それにもとづいて正しい文章を書くことができている。	記述の分析

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	中原中也「汚れつちまつた悲しみに……」	配当時間	2
学習のねらい	○「悲しみ」とは何なのか，想像をめぐらせながら繰り返し音読し，詩を深く味わう。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	さまざまな表現の形式による現代詩のおもしろさを理解しようとする。	さまざまな表現形式やそれぞれの詩の内容のおもしろさを理解しようとしている。	行動の確認
読む能力	文語による定型の詩の形式と，それを使った現代詩の情緒とおもしろさを捉える。	繰り返し音読し，現代詩に取り入れられた文語による定型の詩のリズムや，それがかもしだす情緒とおもしろさを捉えている。	行動の分析
知識・理解	文語による定型の詩の特徴について理解する。	文語による定型の詩を正しく音読し，表現の特徴を理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	新川和江「耳の秋」	配当時間	1
学習のねらい	○この詩でうたわれている情景を想像し、「耳の記憶」とは何かを考える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩の表現のおもしろさに気づき、内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	詩の表現の特色に気づき、「耳の秋」という題名に象徴される世界を的確に読み取ろうとしている。	行動の確認
読む能力	詩の言葉のもつ象徴的な意味の広がりや、表現に即して捉える。	題名の「耳の秋」や、詩の中の「耳の記憶」「宇宙の記憶」などの語の象徴的な意味を捉えている。	行動の分析
知識・理解	「語り手」を中心とした詩の構造を捉える。	「語り手」がどこに位置し、どうしているのか、詩の構造を捉えている。	行動の分析

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	入沢康夫「未確認飛行物体」	配当時間	1
学習のねらい	○空を飛ぶ葉缶や，砂漠に咲く花の様子を想像しながら読み，この詩のおもしろさを味わう。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩の修辞や言葉遣いのおもしろさに興味をもち，内容を理解しようとする。	擬人法による表現だけでなく，ユーモラスな言葉遣いに興味をもち，内容を理解しようとしている。	行動の確認
読む能力	自由な形式の口語表現による，想像力が描き出すのびやかな世界のおもしろさを捉える。	作者が描き出す，人間の内面が形象化された世界の，ユーモラスで豊かなイメージを捉えている。	行動の分析
知識・理解	擬人法の修辞表現について理解する。	擬人法という修辞がどういうものを理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	「ただ一枚の絵葉書 短歌十二首」	配当時間	4
学習のねらい	○繰り返し音読してリズムを味わい，短歌に描かれた情景や心情を豊かに想像する。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	四つのテーマを詠んだそれぞれ短歌の捉え方の違いに見られるおもしろさを知ろうとする。	四つのテーマをそれぞれの歌人がどのように捉えているか，その違いを知ろうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの短歌の表現上の工夫と，それによって描かれている情景や心情を捉える。	それぞれの短歌の修辞や表現上の工夫と，そこに描かれている情景や心情を的確に捉えている。	行動の分析
知識・理解	「区切れ」の持つ意味を理解する。	それぞれの短歌で「区切れ」があるかどうか，またあればどこにあるかを理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	佐藤雅彦「前の駅出ました」	配当時間	3
学習のねらい	○日常生活の中での「視点の切り替え」の重要性について考えを深める。 ○二つの具体例を比較し、その違いと共通点を捉えることを通じて文章の主題を的確に理解する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の 指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物事を少し違った視点から見ることのおもしろさと、それがもつ意味について考えようとする。	日々の日常生活を、今までとは違った視点で見ることのおもしろさと、それがもつ意味について考えようとしている。	行動の観察
読む能力	認識における視点の切り替えの重要性について理解する。	日々の生活の中の何気ないことを、視点の切り替えによって新たなものとして捉えることができることを理解している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	副詞の正しい使い方を理解する。	副詞の使い方と役割を理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	酒井順子「ズルい言葉『してあげる』」	配当時間	3
学習のねらい	○日常の言葉遣いに着目し、言葉の使い方について考えを深める。 ○筆者の言葉についての考えを捉え、その理由を明らかにする。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の 指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	日常生活の中での、気になる言葉遣いについて考えようとする。	毎日の自分の生活の中での気になる言葉遣いについて考えようとしている。	行動の観察
読む能力	日常生活の中で使っている言葉がもつ問題点について理解する。	日常生活の中で何気なく使ってしまう言葉の中に、ものの見方にかかわる大切な問題が潜んでいることを理解している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	四字熟語の正しい使い方を理解する。	よく使われる四字熟語の意味や使い方を理解している。	記述の点検

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	井上ひさし「ナイン」	配当時間	5
学習のねらい	○社会の変容に伴う人間関係の変化と，時代を超えた信頼や友情について考えを深める。 ○登場人物の関係を捉え，それぞれの言動の背後にある心の動きを読み取る。		
言語活動例	ア文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の中に描かれた人間関係のありかたについて興味をもち，考えを深めようとする。	小説の中に描かれた友情や信頼感について考えを深めようとしている。	行動の確認
読む能力	登場人物たちの人間関係と，そこから生まれるそれぞれの思いについて理解する。	登場人物どうしがもつ友情や信頼など，心の内に秘められたそれぞれの思い捉え，地域と人との関わりについても理解を深めている。	行動の分析
知識・理解	小説の構成について理解する。	時間軸に沿って小説の構成を捉えることができている。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	内海隆一郎「芋ようかん」	配当時間	5
学習のねらい	○揺れ動く人間模様をとおして、「物作り」や「商売」が直面する問題について考えを深める。 ○登場人物の言動を手がかりに、それぞれの心情を読み取る。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の性格や思いについて理解しようとする。	登場人物たちの性格やこだわりなどの交錯する思いについて理解しようとしている。	行動の確認
読む能力	登場人物たちのそれぞれの思いと心の交流について理解する。	人々のそれぞれの思いがどのように絡み合い、どのように移り変わっていったのかを理解している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	重要な語句の意味を理解し、文章の中で生かせるようにする。	重要な語句の意味を理解し、それを使った適切な短文を作ることができる。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	原研哉「持たないという豊かさ」	配当時間	5
学習のねらい	○真の豊かさとは何であり、それを手に入れるためにはどうすればよいのか考える。 ○具体例をあげる意図を明らかにし、筆者の主張と根拠を読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の 指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲 ・態度	暮らしの豊かさとは何であるか、筆者の主張をとおして考えようとする。	物を所有することが本当に豊かなことなのか、筆者の主張をとおして考えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、表現の特色を捉え、筆者の主張の中心を理解する。	所有しないこと、物を捨てることの中にこそ暮らしの豊かさを見いだしていこうとする、筆者の主張の中心を理解している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	助詞の意味と使い方を理解する。	助詞が文脈の中でどういう意味をもつのかを理解している。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	竹田青嗣『自己』について考えること	配当時間	5
学習のねらい	○「批判」「批評」「自己ルール」などの言葉を手がかりに、「自己」をどのように捉えるか、考えを深める。 ○具体例や比喻に着目して抽象的な用語の意味を捉え、論旨を自分の思考と照らし合わせながら理解する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の 指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「自己」について関心を深め、「自己」について考えることの意味を捉えようとする。	「自己」とは何か、「自己」について考えるとはどういうことなのか、その意味を捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	評論において大切なキーワードと、それをとおして導きだされる論理とを理解する。	自己について考えることを「自己ルール」というキーワードで説明する筆者の考えを理解している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	常用漢字でできている熟語の構成を理解する。	熟語がどのような構成によって作られているか、理解している。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	夏目漱石「ころ」	配当時間	9
学習のねらい	○「私」の心情・思考を読み取り，人間の心や孤独，通じ合うことなどについて考えを深める。 ○場面や時間の推移に注意して構成や展開を把握し，人物の行動や心情を読み取る。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の 指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	今までに学んできた夏目漱石の文章について思い起こし，この作品に関心をもち，内容を知ろうとする。	小・中学校を通じて過去に読んだ夏目漱石の作品を思い起こし，筆者と作品に関する興味をもち，内容への関心を深めている。	行動の確認
読む能力	登場人物それぞれの行為や心情に対する理解を深め，小説の主題について，適切な，自分なりの見解を形成する。	登場人物それぞれの置かれた状況や行動，心情について分析し，自分なりに主題に関する理解を深め，整理している。	記述の確認 行動の分析
知識・理解	主要な熟語や同音異義語の意味を理解する。	主要な漢語の二字熟語や同音異義語の意味を理解している。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B305）評価規準例案資料

教材名	本の広告を作ろう	配当時間	3
学習のねらい	○自分の好きな本を広告のチラシの形で紹介することにより，相手や目的に合った情報の発信の仕方について理解を深める。		
言語活動例	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字，音声，画像などの特色をとらえて，目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて，収集した様々な情報を分析，整理して資料を作成し，自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分の好きな本について友人に伝えようと，さまざまな発信の仕方を工夫しようとする。	自分が興味をもっていることをどのように他人に伝えるか，その方法を工夫しようとしている。	行動の観察
書く能力	書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や語句により，適切に表現し，伝えることができる。	自分が伝えたい内容を，相手が理解しやすい形態や語句により，適切に表現している。	記述の分析
知識・理解	文章における表記や表現の方法を身につける。	文章を書く上での適切な表記や表現方法を身につけている。	記述の分析

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	さくらももこ「春の小川の思い出」	配当時間	3
学習のねらい	○幼い頃の思い出をとおして描かれる，友達との交流の様子を読み取る。 ○できごとの内容を整理しながら，それぞれの場面での心情を捉える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	随想に表れた筆者の思いやものの見方に関心をもち，理解を深めようとする。	随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心をもち，理解を深めようとしている。	行動の観察
読む能力	身近なできごとを取りあげた随想の中に表現されている心情やものの見方を捉える。	日常的なできごとを描いた随想の中に表れた心情やものの見方を的確に把握している。	行動の分析
知識・理解	文章における主語と述語の照応を正しく理解する。	主語と述語を正しく照応させて文章を書くことができる。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	小川洋子「誰の目にもふれないところで」	配当時間	3
学習のねらい	○一つの仕事に打ち込み，成し遂げようとする筆者の思いを読み深める。 ○具体的な事例を整理して，筆者の意図を捉える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して，人間，社会，自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	随想における筆者のものの捉え方について関心を持ち，考えようとする。	筆者がどのようにものを捉えているのかについて関心を持ち，自分の身の回りの経験からそれを考えようとしている。	行動の観察
読む能力	題名が象徴するものが何かを捉え，それと文の中心内容との関わりについて理解する。	「誰の目にもふれないところで」という題名が何を表し，それが筆者の創作への姿勢とどのように関わっているのかを捉えている。	記述の分析
知識・理解	修飾語の係り受けを正しく理解する。	修飾語の係り受けの誤りを指摘し，正しいものに直すことができている。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	井伏鱒二「山椒魚」	配当時間	5
学習のねらい	○閉じ込められた山椒魚の、外の動物との交流による思いの変化を読み味わう。 ○小説の構成を明らかにするとともに、優れた表現・文体を捉える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	主人公が置かれた状況を自分の身に置き換えて考えようとする。	山椒魚が陥った状況にもし自分になったとしたらどうい うことを考えるか、さまざまに想像している。	行動の観察
読む能力	登場人物の心理の変化と物語の山場での思いについて、 文の構成や展開、表現などを考え合わせながら総合的に捉 える。	山椒魚の思いの変化を蛙のそれと比較して捉え、結末に 関して自分なりの意見をもって述べることができている。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	わかりやすい文章表現を身につける。	読み手に伝えたいことが正確に伝わるような文章を書く ことができている。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	恩田陸「ピクニックの準備」	配当時間	4
学習のねらい	○特別で微妙な関係にある，感受性豊かな高校生どうしの思いを，想像豊かに読む。 ○一人称の語りから，「ピクニック」や三人の登場人物それぞれに対する心情を読み取る。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。 オ 語句の意味，用法を的確に理解し，語彙を豊かにするとともに，文体や修辞などの表現上の特色をとらえ，自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物たちの関係とそれぞれの思いを，文脈を追いつながら捉えようとする。	登場人物たちの特殊な関係と，それぞれが抱いている思いについて，整理して捉えようとしている。	記述の確認
読む能力	登場人物のそれぞれが置かれた状況とその思いを捉える。	特殊な関係の二人の主人公とその友人の三者が，どういう状況でどんな思いを抱いているかを，叙述に沿って捉えている。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	日常的に用いられる慣用句の意味を理解する。	日常生活で用いられる慣用句の意味を理解し，それを用いて短文を作ることができる。	記述の分析

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	渡部潤一『『宇宙人』地球以外に生命体は存在するか』	配当時間	5
学習のねらい	○筆者の主張を捉え、宇宙における生命の存在について考える。 ○評論文における文章の構成と、論の組み立て方を明らかにする。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の科学的な論理展開の妥当性を捉えようとする。	論理の展開を追いながら、宇宙人（地球外生命体）が存在するかどうかの筆者の主張を整理して捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	段落ごとの記述と文章全体を通じての主張を、記述された論理の流れを追いながら的確に把握する。	各小見出しごとにテーマにそって展開する筆者の地球外生命体に関する議論を整理し、的確に読み取っている。	記述の確認
知識・理解	語句の適切な使い方を身につける。	語句の使い方の誤りを指摘し、適切な表現に改めることができる。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」	配当時間	5
学習のねらい	○「ホンモノ」というキーワードを手かりにして、お金とは何かを捉える。 ○具体例を明らかにしながら、構成にしたがって論理を捉える。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	「ホンモノのおカネ」に関する筆者の論の展開のおもしろさを捉えようとする。	「おカネ」の本質とは何か、実例を駆使して説明する筆者の論の展開のおもしろさを捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	具体例とそこから導き出される論理とを整理してまとめる。	「ホンモノのおカネ」とニセガネとの違いの具体例から、「おカネ」の本質とは何なのか、筆者の考えを逆説的な論の展開を追いながら的確に捉えている。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	「逆説」による論理の展開を理解する。	「逆説」による論理展開を実例と関連させて理解している。	行動の分析

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	自己PRをしよう	配当時間	3
学習のねらい	○模擬面接の中での自己PRにおいて、自分の良さをどのようにアピールし伝えていくか、手順を追いながら体験する。		
言語活動例	ウ 伝えたい情報を表現するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、目的に応じた表現の仕方を考えたり創作的な活動を行ったりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分の将来に向けて必要な自己PRの方法について興味をもち、実際に体験しようとする。	模擬面接に向けて自分自身の長所をみつめ、自己PRを通じて実際にそれを伝えようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	自分の長所を客観的な視点から捉え、整理して、模擬面接の中で実際に表現する。	自分の長所を簡潔に客観的な視点から見て整理し、模擬面接を通じて他人に効果的に伝えている。	記述の分析 行動の分析
知識・理解	面接における言葉遣いの基本を理解する。	面接において正しい言葉遣いで話すことができている。	行動の分析

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	吉原幸子「ユメカサゴ」	配当時間	1
学習のねらい	○水槽に沈んでいるユメカサゴの姿を想像し、「ユメ」とはなんなのかを考えながら詩を味わう。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩の内容に合ったリズムや音色で、工夫をこらして朗読しようとする。	詩に内在するリズムや、詩から感じ取られる情感を工夫して表現し、朗読しようとしている。	行動の分析
読む能力	詩の中で形象化されているイメージがどのようなものであるのかを読み取る。	美しい熱帯魚たちと比較して描かれた詩の中の「そいつ（ユメカサゴ）」の姿から、ユメがどのようなものとして考えられているかを読み取っている。	行動の分析
知識・理解	詩の表現上の特徴を捉える。	詩の中の語の表記や詩のリズムなど、表現上の特徴を捉えている。	行動の分析

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	宮澤賢治「永訣の朝」	配当時間	2
学習のねらい	○「いもうと」と別れることになる朝、「わたくし」は何を考え、「いもうと」のために何をするのか、「わたくし」の気持ちになって詩を深く味わう。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	さまざまに工夫された表現や構成から、筆者の思いを捉えようとする。	方言の使用や独特の情景描写が「わたくし」の心情表現にどのような効果を与えているのか、捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	詩の中のさまざまな形の表現や構成の技巧が、心情の表現にどのように効果的にはたっているかを捉える。	妹に対する「わたくし」の思いを、方言を使った心中語の表現を中心に内容、構成の両面から的確に捉えている。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	方言の使用など、詩の特徴を理解する。	方言の使用など、詩の特徴を理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	「ノートの上に海 俳句十二句」	配当時間	4
学習のねらい	○繰り返し音読してリズムを味わい，俳句に描かれた情景や心情を豊かに想像する。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで，人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで，書き手の意図や，人物，情景，心情の描写などを的確にとらえ，表現を味わうこと。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	俳句という短詩型文学のおもしろさを捉えようとする。	俳句という独特の短詩型文学の特徴やおもしろさを捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの俳句がもつ特徴と感動の中心を捉え，文章にまとめる。	それぞれの俳句において表現されている感動の中心を捉え，それに対する自分の意見を書いている。	記述の分析
知識・理解	俳句の修辞など，基本的な知識を身につける。	季語や切れ字がどのようなものか，理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	茂木健一郎「最初のペンギン」	配当時間	3
学習のねらい	○人間社会の中での「最初のペンギン」とは、どのような存在なのかを考える。 ○「最初のペンギン」の行為をもとに展開される論理を読み解く。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	具体例がどのようなものであり、どのような意味をもっているのかを捉えようとする。	「最初のペンギン」とは生物界ではどのような存在であり、どういう役割を担っているのかを捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	新しい発想や着眼点から書かれた随想を読み、人間と、人間が生きる社会とはどのようなものなのかを捉える。	「最初のペンギン」のような存在は、人間社会の中ではどのような役割を担っているのか、筆者の考えを理解している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	基本的な尊敬語の知識を身につける。	普通の表現を尊敬表現に書き改めることができている。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	別役実「なまけものコンプレックス」	配当時間	3
学習のねらい	○なまけものの姿をとおして語られる文明批評の精神について考えを深める。 ○「逆説」「比喻」などを多用した、独特な表現方法の効果を理解する。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者が取りあげた具体例が何を表すのかを捉えようとする。	筆者がなぜなまけもの様子に興味をひかれたのかを考えようとしている。	行動の観察
読む能力	具体例をとおして語られる現代人間社会への批評的視点を捉える。	筆者がなまけものの姿をとおして逆説的に語る人間社会への批評の意味を捉えている。	記述の分析
知識・理解	基本的な謙譲語の知識を身につける。	普通の表現を謙譲表現に書き改めることができている。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	中島敦「山月記」	配当時間	7
学習のねらい	○主人公の生き方や人間の運命について考えを深める。 ○漢文調の文章を味わうとともに、人物の言動から人物像を明らかにする。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の話の展開のおもしろさを理解しようとする。	中国の古典を基にした虎への変身譚のおもしろさがどのようなどころにあるのか、理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	自己を物語ることにより、主人公が自己をみつめ、変貌していく姿を読み取る。	主人公・李徴が苦悩し、破滅し、再会した旧友に自らを語ることにより、自己をみつめ、変貌する姿を捉えている。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	小説の構成について理解する。	小説の緊密に計算された構成について理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	吉村昭「破船」	配当時間	5
学習のねらい	○厳しい境遇を生き抜いていく主人公の姿を捉え味わう。 ○簡潔な表現の吟味をとおして人物の心情の変化を捉える。		
言語活動例	ア 文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	想像力を発揮し、作品世界を思い描こうとする。	作品に描かれた状況を把握し、その作品世界を思い描いている。	行動の観察
読む能力	物語の展開に即して登場人物の心情を読み取り、作品に対する感想を発表する。	表現に即して漁師の厳しい世界に生きる若者が一人前の漁師になるために苦闘する心情を読み取り、作品に対する感想を発表している。	行動の分析
知識・理解	敬語を実践的に理解する。	尊敬，謙譲，丁寧の三種類の敬語を使い分けることができている。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	鷺田清一『『自由』のはき違え』	配当時間	4
学習のねらい	○私たちにあってあるべき「自由」について、考えを深める。 ○言葉の定義を確かにして文脈を読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	緊密な構成による論理展開と、それが導き出す結論を捉えようとする。	私たちにあって「自由」とは何であり、「自由をはきちがえる」とはどういうことかを捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の中での重要語句（キーワード）に着目し、どのようにして結論に至るか、その道筋を捉える。	文章中の、結論に結びつくいくつかのキーワードを挙げ、結論を導く論理の流れを説明している。	記述の分析
知識・理解	重要な対義語や類義語の意味を把握する。	重要な対義語や類義語を文脈の中で理解している。	行動の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	加藤周一『『知る』ということ』	配当時間	5
学習のねらい	○「知る」ということと、「知る」と似ているがそうでないこととを区別することで、「知る」ことの本質を捉える。 ○問いに対する答えという対応に着目し、文章の主旨を読み取る。		
言語活動例	イ 論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	具体例を使って実証的に語られる論理展開のおもしろさを捉えようとする。	具体例と実証とによる論理展開のおもしろさを捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	一つずつ段落を追い、結論へと至る論理展開の流れをつかみ、筆者の主張を捉える。	一つずつ段落を追って段落ごとの要旨を捉え、その積み重ねによって文章の結論を把握している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	よく使われる同音異義語の意味の違いを理解する。	よく使われる同音異義語の意味の違いを理解している。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	半藤一利「十五歳の東京大空襲」	配当時間	5
学習のねらい	○戦争の状況を捉え、平和について考えを深める。 ○文章表現における語句の使い方を吟味し、的確な描写を味わう。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	社会的なできごとを描いた文章を読み、そこに生きる人間の姿を捉えようとする。	東京大空襲という社会的なできごとを現実に経験した人間の視点から、そこで生きる人間の姿がどのようなものであったか関心をもち、捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	事実を描いた文章を読むことを通じて、社会的事実とともにそこに生きた人間の思いを理解しようとする。	東京大空襲という歴史的なできごとがどのようなものであり、そこに生きた人間が何を感じ、どう捉えているのかを理解している。	行動の分析 記述の分析
知識・理解	難しい訓読みの読みを理解する。	難しい訓読みの読みを理解している。	記述の確認

三省堂『明解現代文B』（現B 305）評価規準例案 資料

教材名	文集をまとめよう	配当時間	3
学習のねらい	○十五歳の少年が経験した東京大空襲の記録を読み，自分の意見を文章で表現する。		
言語活動例	エ 文章を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し，様々な資料を調べ，その成果をまとめて発表したり報告書や論文集などに編集したりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 目的や課題に応じて，収集した様々な情報を分析，整理して資料を作成し，自分の考えを効果的に表現すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	戦争の記録を読み，そこで生きた人間の思いを捉え，意見を述べようとする。	書かれた記録の事実を順を追ってまとめ，実際に体験した筆者の思いを捉え，自分の意見を述べようとしている。	行動の観察
書く能力	戦争という悲惨な現実を実際に体験した筆者の視点をふまえ，戦争というものに対する自分なりの考えを形成し，文章に表現する。	筆者の具体的な経験の叙述と，そこで感じた思いを整理し，戦争というものにどのように向き合うのか，自分なりの考えをもち，文章に表現している。	記述の分析
知識・理解	原稿用紙の正しい書き方や表記について理解する。	句読点や記号，改行，段落，数の表記の仕方など，原稿用紙の書き方の基本的な規則を理解している。	記述の確認